

～数学科 追加課題について～

5月11日(月)

数学科 福島 健太

・みなさん連休中はどうお過ごしでしたか？

今年は、新型コロナウイルスの影響でいつもとは違った生活をしなければならず、あり余るエネルギーを発散できていない事かと思います。長い連休で生活習慣は乱れていませんか？まずは朝しっかり起きて、夜ふかしをせず22時までには寝ること。早寝・早起きをして規則正しい生活を心がけて下さい。

さて、先日連絡があった通り、5月31日(日)まで臨時休業が延期されました。それにともなって、”追加の課題”を2つ配布します。1つ目は小学校の復習ですが、もう1つは中学1年生の予習を出します。また、今回から、問題の解き方、丸付けの仕方など、細かく指示を出します。これは、効率よく勉強するため、確実にステップアップするために大切なことです。よく読んで、ていねいに取り組んで下さい。また1日のスケジュールをしっかり立てて計画的に行って下さい。

・追加課題について

① 数学へのとびら(白黒の冊子)←小学校の復習



～取り組み方～

- (1) 「確かめよう」で復習内容をチェック。
- (2) 演習問題に挑戦。
- (3) 丸付け。(解答は冊子の最終ページに付属)
- (4) まちがえた問題の解き直し。



② 数学の基本ノート(オレンジの表紙のワーク)←中学校の予習



～取り組み方～

- (1) B5の配布プリント「重要語句プリント」で単語の穴埋め。
- (2) 教科書の問題 範囲:P12~P17を自主勉ノートにやろう。
- (3) 数学ワーク(数学の基本ノート) 範囲:P2~P5に挑戦。
- (4) ワークの丸付け。(別冊の解説あり)
- (5) まちがえた問題の解き直し。

提出日
最初の数学の授業

数学の特徴は数学特有の「きまり」がたくさんあることです。例えば、足し算とかけ算には計算の順番がありますよね。数学になるとこれがもっと多くなります。だから、数学ができるようになるためにはまず、「きまり」に慣れること”定着”が大切です。定着には何回も繰り返し問題を解くことが1番です。見返しやすいワークを作り、何をどう間違えたかがすぐに分かる自分専用の参考書を作り上げて下さい。

※重要!! 数学ができるようになるために・・・

・課題をする際のルール

- ① 式を必ず書こう。
- ② 丸付けを必ずしよう。
- ③ 間違えた問題の答えは消さずに残しておこう。
- ④ 解き直しを必ずやろう。

<ワークの使い方例>

ひっ算は消さず
に残しておこう。

$$\begin{array}{r} 0.6 \\ 25 \overline{)150} \\ \underline{150} \\ 0 \end{array}$$

次の問題に答えなさい。

(1) 15gは、25gの何%ですか。

$$15 \div 25 = 0.6$$

$$0.6 \times 100 = 60$$

A. 60%

必ず式を書こう!

80人の60%は何人ですか。

まちがえた解答は消さず
に残しておく。

(3) 120m²の150%は何m²ですか。

色ペンで解き直しをしよう!!

(4) 24Lが30%にあたる水の体積
は何Lですか。

1% → 0.01

2 次の問題に答えなさい。

(1) 定員が60人の映画会に、定員の110%の人が参加を希望している。希望者は何人ですか。

単位を忘れない。

まちがえた原因
を見つけよう。

~~(2) 定価1000円の品物を25%引きで買うと、代金は何円になりますか。ただし、消費税は考えないものとする。~~ 25% → 0.25

$$1000 \times 0.25 = 250$$

$$1000 - 250 = 750$$

$$75\% \rightarrow 0.75$$

$$1000 \times 0.75 = 750 \quad \underline{A. 750円}$$

(3) A中学校の今年の生徒数は180人で、今年の生徒数は昨年より5%増加した。今年の生徒数は何人ですか。

何をどうまちがえたのかを見直し、繰り返してできるまで勉強することが大切。
そのためには自分がどこをミスしたのかが分かるように消さずに残しておく。

① 数学へのとびらの勉強方法

1年の数学で学習する内容に関連した単元問題です
「確かめよう」で思い出し、ていねいに取り組みましょう

1	正の数・負の数
2	文字と式
3	方程式
4	比例と反比例
5	平面図形
6	空間図形
7	資料の活用

年 組 番 名 前

- P2~P17 ページの問題を解く
- P18~P20を見て丸付けをする。
- 分からない時は、確かめようや教科書を参考にしよう。

5 割合

ここを参考にしよう。

●●●● 確かめよう ●●●●

例題1 400円の20%は何円ですか。

◆ 解き方 ◆
20%は小数になおすと0.2
→ $400 \times 0.2 = 80$ 80円

●ポイント●
百分率は小数や分数になおす。
100% → 1
10% → 0.1
1% → 0.01

例題2 定価200円の30%引きの値段は何円ですか。

◆ 解き方 ◆
定価を1とすると30%引きは、 $1 - 0.3$
→ $200 \times (1 - 0.3) = 140$ 140円

●ポイント●
30%引きの値段の定価に対する割合を、 $1 - 0.3$ と表す。

② 数学の基本ノート(予習)の勉強方法

(1) プリントと教科書でどんなことを勉強するのかを知る。

重要語句“これだけは覚えよう!” 1年 組 名 前 ()

~予習の取り組み方について~

① 教科書の範囲を確認!

① 教科書 P12
0℃より5℃低い温度を、記号-を使って、-5℃と表し、「 5℃」と読む。
一方、0℃より5℃高い温度は、記号+を使って、+5℃と表し、「 5℃」と読む。

空欄に語句を記入していく。

② 教科書 P14
-3や-1.5のように、0より小さい数を「 」といい、記号-を「 」と表す。
+2や $+\frac{1}{3}$ のように、0より大きい数を「 」といい、記号+を「 」と表す。
また、1, 2, 3, 4, 5, ……のような「 」のことを「 」ともいいます。

③ 教科書 P15, P16
数直線で、0を表す点を「 」と言う。また、数直線の右の方向を「 」、左の方向を「 」と言う。
数直線上で、「 」からの距離をその数の「 」と言う。

1 節 正の数と負の数

1 反対の性質をもつ数量

★ 反対の性質をもつ数量の表し方を考えましょう。

教科書の説明を参考に、プリントに記入しよう。

0℃より5℃低い温度を、記号-を使って、-5℃と表し、「**マイナス5℃**」と読みます。
0℃より5℃高い温度は、ふつう5℃と表しますが、記号+を使って、+5℃と表すこともあります。記号+は、**プラス**と読みます。


(2) 教科書の練習問題を自主勉ノートにやる。

問1 次の温度を、記号 +, - を使って表しなさい。

(1) 0℃より7.5℃高い温度
 (2) 0℃より12℃低い温度

例1 高さ
 海面を
 高いことを+で表すとき、富士山の標高3776mは、+3776mと表されます。また、日本の近くの海で最も深い所の深さは海面下9780mで、これは-9780mと表されます。

(問)と書かれている所をやろう。



12 | 1章 正の数と負の数

～自主勉ノートでやる範囲～

教科書

P12～P13 : 問1～問4
 P14～P15 : 問1～問3
 P16～P17 : 問1～問4

・答えは重要語句プリントの裏面に記載。

(3) 数学ワークの問題をする。

1 符号のついた数

基本をマスターしよう!

1 正の数・負の数

① +, - の符号を使って、0℃より7℃低い温度を表しなさい。
 ② 0℃より低い温度だから、負の符号「-」を使って表す。 例 -7℃

正の数→0より大きい数
 →「+」を使って表す。
 負の数→0より小さい数
 →「-」を使って表す。

2 +, - の符号を使って、次の数を表しなさい。

(1) 0より17小さい数
 (2) 0より $\frac{3}{4}$ 大きい数

2 反対の性質をもつ数

③ 700円の収入を+700円と表すとき、400円の支出を表しなさい。
 ④ 収入を正の数で表すことにしたので、支出は負の数で表す。 例 -400円

反対の性質をもつ量は、正の数、負の数を使って表すことができます。

3 正の数、負の数を使って次のことを表しなさい。

(1) 600円の利益を+600円と表すとき、200円の損失
 (2) 気温が現在より2℃低くなることを-2℃と表すとき、気温が現在より5℃高くなること
 (3) 地点Aから北へ8m移動することを+8mと表すとき、Aから南へ7m移動すること
 (4) 現在より30分前のことを-30分と表すとき、現在より45分後のこと

2 | 1年

課題範囲:P2～P5

- ・<ワークの使い方例>を参考にして下さい。
- ・分からない問題は教科書を見ながら解いてもOK!
- ・丸付けとまちがえた問題の解き直しは必ずやろう。

～提出物についての連絡～

- ① 提出物:「数学ワーク」「数学へのとびら」「プリント」の3つ。
- ② 提出の仕方:「数学のワーク」にはさみ込んでまとめて提出。
- ③ 提出日:最初の数学の時間の予定。(休み期間の日数によって変更あり。)

計画的に取り組もう!